



スマイルシード
発行日 2012年3月8日
NO.7

たくさんのご参加ありがとうございました！

2012年2月9日学習交流会「子どもたちの日中活動を支える新制度とサービス」 報告

当日はとても寒い日でしたが、40名近い保護者と4つの事業者、更にはこのテーマに関心を寄せる関係者など50名近くが集まり、会場は熱気に包まれていました。箕面市の障害福祉課による日中活動に的を絞った制度とサービスの状況について現状と新年度以降についての説明があったのを皮切りに、日中活動のサービスを現在提供している、また近く開設する事業者の話の聞きました。以下、その概要を報告します。

I 障害者自立支援法下でのサービス利用と改正自立支援法での変更点について

[障害者自立支援担当 栗生 様]

●改正自立支援法では対象となる障がい者の範囲に発達障害を明確に位置づけた。平成24年度4月に施工される新制度については詳細が分かり次第情報提供していく予定。

●自立支援給付（注：現行児童デイ、短期入所など）は国のサービス事業で国1/2と府1/4、市1/4で事業費を負担

ショートステイは現在ライフプラザで定員3名と少ないが、瀬川のあかつき園で今年4月以降8床に増床される。情報提供は広報紙と市HPで。

●現行の地域生活支援事業について

地域特性に応じて提供できるサービスで市町村事業である。

相談支援事業については現在市内に4か所の相談事業所がある（ライフプラザ社協、ライフタイムメント、ウィズあかつき、パオ箕面）。

移動支援事業は、中高生にとっては足りない日中一時支援（注：放課後教室など）や児童デイに代わる受け皿として代替利用されている。どこの市でも受け皿の不足は顕著。

地域活動支援センターは現在二か所。一つは精神障害対応、もう一つの光明の郷ケアセンターでは登録制で日中一時支援を行っているがいっぱいの状態。

●今後は相談支援体制を充実強化していく（注：改正自立支援法H24年4月施行項目に「相談支援の充実」が盛り込まれている）。障害児相談支援事業所が4月から新たにできる。詳細は未定。3月の広報紙で制度の変更を掲載する。

Q. 4月以降、「児童デイ」が「放課後デイ」に変わるが、市の窓口は？

A. 基本的には4月以降子ども部が相談申請の窓口になる方向。3月中に決定。子ども部だけでなく、健康福祉部も連携しながら対応する。

II 箕面市ささゆり園放課後教室について

[あかつき福祉会 浅井 様]

箕面市から委託された事業。障がいのある中高生に「また来て頂ける場所」を目指す。障がい児にも不登校・ひきこもりがある。学校に行けなくても放課後教室が行ける場所になってほしい。利用期間は短くとも大事な成長の期間ととらえる。

利用日程：週2日（月～金）年度末に保護者と相談の上曜日を決定。利用時間は、下校時～17時、学校休業日は10～17時。代休、台風休校など対応している。

送迎：なし 豊中支援からは下校バスで下車。箕面支援は年度ごとに決定される。

登録人数：25名、1日10名。事前登録が必要。（現在、豊中支援17名、箕面支援7名、市立中学1名、男子15名、女子10名）

費用：4時間未満200円、4時間以上400円、おやつ代年間3000円、その他実費負担、給食注文も可能。

プログラム：月間プログラムで活動。少人数グループで学校ではできないこともできる。外出活動もあり。中高生のこの時期に失敗も大切な経験と考える。

*送迎については今後の課題として箕面市と協議していきます。

問い合わせ： ささゆり園 072-724-2940

Ⅲ 新事業放課後デイサービスについて

[北摂福祉会 鈴木 様]

開所：7月1日予定

場所：船場東2丁目

対象：支援学校生、小・中・高校生

定員：10名

時間：放課後～18時 長期休み10～16時 土日、GW、年末年始は休み

送迎：あり（無料）

利用希望者が多ければ増設も視野においている。4月以降、新制度の下では、障害児相談支援事業所が保護者の相談を受け個別支援計画を作り、それを元に事業所を選ぶことになる。

「放課後等デイサービス」を行う際の定員は10名以上。学校から事業所への送迎、事業所から家庭への送迎に国も予算をつけてきたので、事業所も（送迎に関して）変わっていくであろう。 *新しいデイサービスの施設名を募集しています。

問い合わせ： 北摂福祉会 072-737-2133

hokusetsu-fukushikai@lake.ocn.ne.jp

Ⅳ 地域交流センター立ち上げについて

[ライフタイムミント(推進協) 片野坂 様]

昨年1月からスマイルシート保護者、教育関係者、地域の関係団体の方を交え、計7回の内部検討会を重ね、放課後教室や児童デイサービスの事業所、行政担当者からも意見を求めた。推進協では、相談事業所として学校卒業後の相談に対応してきたが、進路や自立の問題、親亡き後の問題にあたる中、子どもや保護者と継続して繋がっていく必要性を感じ、何ができるかを考えてきた。

「地域交流センター」の役割として、子どもの成長を豊かにする、地域のノーマライゼーション、親の就労の間接的支援、地域の住民・学生・健全な子どもとどう関わりを作っていくかが重要と考える。この「地域交流センター」内に放課後デイが入るという位置づけになる。

開所：8月予定

場所：牧落3丁目 マンションポプラハウス1F

対象：小4～高校3年生で定員10名

時間：17時まで（応相談）

送迎：あり

スマイルシードより 《学習交流会を終えて》

一年近く前、これから何をどう活動していくかメンバーで考えていました。一年半近いそれまでの活動によって、障がいのある中高生が地域で過ごす場所と機会が少ない、何とかしよう！という思いは、同じ保護者の間に、そして地域の周辺の人たちの間に広がり、それなりの共感を得られたのではないかと感触を得ていました。では次に自分たちにできることは何か？それを考えた時、この課題で何らかの前進をみるには、実際に子どもたちとその家族を支援する事業をしてくれる事業者の理解を得ることが必須と思われました。そのためにも更に家族の思いを汲み上げ、届け、伝える努力が欠かせないというのが私たちの結論でした。

その一つが保護者を対象としたアンケート調査。子どもが市立小中学校に籍を置く家族だけではなく、地域から府立支援学校に通う子どもの保護者の協力は絶対に外せないことでした。箕面で共に子育てをする家族と一緒にこの課題を考え、そこに行政と関係事業者を巻き込んでこそ意味があると考えました。

そしてもう一つ、私たちがこの課題を考える上で大きな経験となったのが、推進協さんが開催された「放課後検討会」への参加でした。そこで障がい者に携わる様々な立場の、色々な個人の考えを聴き、私たちの思いを伝える機会を連続して持ったのですが、立場や世代によって、もちろん個人的にも、その考えは異なっていることを実感し、だからこそ交流していくことがいかに大切か、それなしでは子どもにとっても家族にとっても納得のいく支援は得られないのではと感じました。

アンケートの趣旨に賛同し、経験のない私たちにアドバイスと協力を惜しまれなかった事業者の方々には心から感謝したいと思います。事業者さんの協力なしにはここまで来れなかったことはまちがいありません。そして一年前には、地域に一つもなかった児童[放課後]デイが複数立ち上がるという嬉しい流れになったのです。

学習交流会での事業者さんそれぞれの話をきいても、各事業者がもちろん仕事ではあるのですが「使命感」をもって取り組まれているのを感じて頂けたのではないのでしょうか。私たちも活動を通して事業者さんの事業への取り組みを垣間見る時、その事業が決して平坦ではないことを、そしてそれを支えるお一人ひとりの熱意を感じてきました。

放課後デイはこれから始まる事業です。また、一つの事業所が立ち上がる時、それは出来上がったものではなく、恐らくそこに関わる人たちで育てていくものであることを、私たち保護者も忘れてはいけないと思います。預けて終わり、ではなく、デイが子ども達一人ひとりにとって大切な場所と機会となるように、関心を寄せ声を届けていくような家族でありたいと思います。



ありがとうございました。

市が「第3期障害福祉計画」へのパブコメを募集中

市はH24～26年度までの障害福祉施策をまとめた「第3期障害福祉計画」の素案を市HP等で公表し意見を募集しています。提出は3月15日(木)障害福祉課必着とのこと。市政に声を届けるチャンスです。詳しくは市HPや3月もみじだよりをご覧ください。

障害福祉課：727-9506

まずは「素案」を
チェック！！